

12. 主要科目の特長及び目標

(1) 保育士コース(指定保育士要請施設)

教科科目	科目の特長	科目の目標
芸術と文明	世界の歴史において各地域で展開した東西諸文明と、これを代表するすぐれた芸術作品～絵画・彫刻・建築・詩・小説・演劇～などをとりあげ、人類文化を考察する。	古今東西の芸術作品を、それらが生み出された諸文明の中で捉え、歴史的・総合的に理解する。
情報処理演習Ⅰ	コンピューターおよび情報機器・媒体についての知識を学び、その操作・活用ができるようになると共に文部科学省後援の「文書デザイン検定試験」などの上級検定試験に対応した授業を進める。	社会人として保育園などで働く場合に求められる、コンピューターを活用する能力を習得する。
保育原理	保育所指針をしっかりと読み込み、その中から保育をめぐる問題となっている事がらを洗い出し、それらの問題について、自分自身で考えられるようにする。	保育所指針に示されている保育の内容・計画、こどもの安全・健康など、保育の基礎・基本を確実に身につける。
社会的養護Ⅰ	養育・保護・子どもであることへの回復・生活文化と生活力の習得・生命倫理観の醸成からなる5つの原理について、養護の価値観をベースに学ぶ。子どもの権利と援助の理念について、制度や事例を基に学ぶ。	子どもの権利と援助の理念を学び、養護の価値観を習得する。施設実習に参加するために、養護原理を理解し、養護原理を活用できるようにする。
保育の心理学	それぞれの時期における、子どもの心理発達の特徴の基礎的な知識について学ぶ。子どもに関わる専門家に必須となる視点の獲得が可能となるようにする。	子どもの心理・発達の特徴について基礎知識を学ぶ。生涯発達の視点から、特に就学前の子どもの心理・身体的発達の特徴について理解する。
子どもの食と栄養Ⅰ	乳幼児から幼児期、学童期、思春期と各発達段階に応じた栄養生理と摂取方法を学び、栄養・食生活の重要性を理解する。幼少期のアレルギー疾患についての専門的な知識を備える。	小児期の栄養、食生活の重要性を理解する。また、厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に基づいた授業カリキュラムとして修了課題に合格し「アレルギーマイスター認定証」を取得する。
保育内容総論	保育所保育指針に基づく保育の基本と保育内容について理解する。保育内容に係る基本原則に関わる事項を踏まえ具体的に展開できるように説明していく。	保育内容の土台となる保育所保育指針を理解し、保育の全体構造と保育内容を理解する。
乳児保育Ⅰ	乳幼児期の発達過程を詳しく学ぶ。また、乳幼児期の発達を促し、生活を充実していく援助方法や環境設定を学ぶ。	乳児保育の理念や3歳未満児の発達過程について学び、健やかな成長を支える生活とあそびについて理解する。温かな人間性と諸科学の理論に裏づけられた保育実践力を身につける。
音楽Ⅰ	保育の現場で不可欠な楽器(ピアノ)の演奏力をつける。個人レッスンの形をとり、主に教則本を用い進度に応じて指導していく。また、楽譜を正しく理解するための楽典を学び、読譜力を養う。	保育者として必要なピアノの演奏技術・表現法を学び、幼児音楽のありかたについて理解する。
ゼミナールⅠ	決められたテーマについて、学生が研究・発表をおこなう。	課題発見能力、レポートにまとめる能力、プレゼンテーション能力を養うことを目標とする